高校の国語教員になるために　（作成：本田茉由）

〇資格の取得

・一種免許状（大学卒業相当）、専修免許状（大学院修了相当）

⇒高等学校は小中学校と異なり、二種免許状（短期大学卒業相当）はない

・中学校教諭一種免許状と併せて取得することが多い

⇒中高一貫校の私立学校への就職を考える際に有利

・実習（養護施設、老人ホーム、学校）

・通信制でも取得可能

〇専門の決定

・現代文or古文or漢文

⇒漢文は貴重な人材になるが、現代文や古文の指導も行うことになる

・資格は教科別のため事前に決めておく必要がある

〇公立、私立の選択

・公立　各都道府県等で実施される教員採用候補者試験

・私立　各高校の教員採用試験

・競争倍率　公立＞私立

・私立は縁があれば有利に

〇採用試験

・受験者　新卒：既卒＝３：7

・採用倍率　約7～8倍（男性>女性）

⇒採用数増加により低下の傾向

⇒都市部、地方

⇒小中学校教諭より高め

・採用率は新卒既卒どちらもほぼ同率

〇臨時教員

・登録しておけば、教師に空きが出た場合に一定の期間のみ教員になれる

・待遇や給与などは正規職員と同様

〈参考文献〉

「高校教師の仕事」Career Garden

<http://careergarden.jp/koukoukyoushi/>　（参照　2018年12月10日）

高校の国語教員に求められること　（作成：本田茉由）

〇生徒の未来の選択肢を増やす

・学力向上

〇生徒とのコミュニケーション

・生徒ありきの教師

・一線を引いた関係

⇒どこに出しても通用する人間を形成する手助けをする

〇親との良好な関係の構築

・毅然とした態度で親と折衝する

〇強い精神力

・逆境にも耐えうる精神力

〇観察力

・生徒の立場に立つ

・いじめ問題に対し、より早く適切に対応する

〇勉強

・常に勉強して知識をため込む

〇熱意、思いやり

〇国語力

・文章表現力

⇒文章の添削や様々な文書の最終チェック

・話す力、聞き分けられる力

☆中学校教師と高校教師の違い

・取得単位数

・義務教育か否か

⇒高校では生徒の自主性を重視

〈参考文献〉

「高校教師の仕事」Career Garden

<http://careergarden.jp/koukoukyoushi/>　（参照　2018年12月10日）